

仕 様 書

1 物件の名称・数量等

全自動尿分析装置/全自動糖分析装置他 数量：1 式

2 必要とする仕様の内容

- ・ 本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は下記のとおりとする。
- ・ 必須の要求要件は本院が必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判断がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- ・ 当仕様書に記載のない事項及び不明な点については、適宜病院と協議すること。

項 目	技術的要件
検体検査部門システム接続	検体検査部門システム（A&T）とオンライン接続し、患者情報や検査オーダー・測定データ等の送受信が可能であること。
【全自動尿分析装置】 測定項目	pH、ブドウ糖、潜血、蛋白質、ウロビリノーゲン、ケトン体、ビリルビン、亜硝酸塩、比重、白血球、アルブミン、クレアチニン、色調、濁度、（演算項目：蛋白/クレアチニン比、アルブミン/クレアチニン比）全項目の測定が可能であること。
測定方法	試験紙：反射測光法、比重：屈折率法、混濁：比色法や散乱光測定法 尿色調補正機能を有していること。 異常発色識別機能を有していること。 ビリルビン陰性化補正機能を有していることが望ましい。
必要最低検体量	1mL 以下であること。
処理能力	225 検体以上／時間であること。
操作性	操作が簡易であること。
試薬管理	試薬残量の確認や交換履歴などの管理が可能であること。 装置内での試験紙の安定化が図れる機能を有していること。 装置内に 2 種類以上の試験紙を設置が可能であること。
メンテナンス	日常メンテナンスが簡易であること。 エラー発生時、エラー内容及び復旧方法の確認が簡易であること。 メーカー修繕が必要になった場合、迅速な対応が可能であること。
現行機器と接続	全自動尿中有形成成分分析装置 UF-5000（シスメックス株式会社）と検体搬送接続が可能であること。また、接続費用を含むこと。
バックアップ機	上記測定項目がすべて測定可能であること。 処理速度が 520 検体以上／時間であること。 バーコードリーダーを有すること。

その他	オンライン接続が可能であること。 日常メンテナンスが簡易であること。 プリンターを要し測定値を印字が可能であること。 電源工事が不要であること。 無停電装置を接続していること。
【全自動糖分析装置】	
測定原理	GOD（グルコースオキシダーゼ）固定化酵素酸素電極法であること。
測定検体	血清、血漿、尿、全血（静脈血）検体が測定可能であること。
検体量	サンプルカップで 70 μ L 以上、採血管で 1mL 以上であること。
測定範囲	ノーマルレンジ：6～900mg/dL、ハイレンジ：30～5,000mg/dL であること。
処理能力	処理能力は、150 検体/時であること。
サンプリング	サンプリングはキャップピアス方式であること。
試薬残量確認	試薬残量および残テスト数ができること。
機器連結	自動グリコヘモグロビン分析計と連結が可能であること。
【全自動グリコヘモグロビン分析装置】	
測定原理	測定原理が HPLC 法であること。
測定検体	全血検体および希釈検体が測定可能であること。
検体量	検体量が 10 μ L 以下であること。
測定モード	測定モードは任意で変更が可能であること。
異常ヘモグロビンへの対応	主要な異常ヘモグロビン HbS, HbC, HbD, HbE を分離できること、かつ HbA1c%の報告が可能であること。
データチェック機能	キャリブレーション、測定検体のデータチェック機能を有すること。
機器立ち上げ	自動立ち上げ機能を有すること。
サンプリング	サンプリングはキャップピアス方式が可能であること。
スタート	スタート機能を有すること。
試薬残量確認	試薬残量のモニターが可能であること。
HbF 除去再検計算	HbF 除去再検計算が可能であること。

測定結果	測定結果及びクロマトグラムが装置画面上に表示が可能であること。
希釈測定	検体の Hb 濃度により装置上で希釈倍率を変更し測定する機能を有すること。
機器連結	血糖分析装置と連結が可能であること。
【卓上遠心機】 ローター	スイング型であること。 最高回転数は 4000rpm、最大遠心力 2600×g であることが望ましい。 5～10mL 採血管の遠心が可能であること。 バケットは 5～10mL24 本以上が一度に遠心可能であること。
寸法	幅 40cm×奥行 45cm に設置が可能であること。
その他	タコメーターを使用した点検が可能であること。 国際安全規格に準拠している製品であること。 電源工事が不要であること。

3 納品場所

茨城県笠間市鯉淵 6 5 2 8
茨城県立中央病院

4 調達の条件（以下に必要な一切の費用を見込むこと。）

- ・ 使用できるよう搬入、据付、接続、調整、動作確認を行ったうえで、取扱説明を行うこと。
- ・ 納入により生じた梱包材料等は持ち帰り処分すること。
- ・ 供給者は、技術支援及び教育、講習支援を十分に実施し得る体制を確立しておくこと。

5 納入期限

令和 9 年 3 月 3 1 日（水）
納入にあたっては、事前に連絡調整すること。